

横浜市社会教育コーナー 令和5年度事業計画案

2023/03/21作成

事業実施の方針

市民が社会参加しながら地域の課題をみつけ、主体的に課題を解決し、豊かな人生を送ることを目指します。社会教育施設として「学び」による地域づくり、つながりづくり、人づくりを推進します。

	事業名	目的	内容	回数	募集人数	収入	支出
事業の目標1 社会参加 主体的な参加のきっかけづくり	社会教育の場の運営		利用者が主体的に活動にかかわれるよう、挨拶や声かけなど職員が利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、風通しの良い意見の言いやすい関係を構築する。研修室・アートルーム・スポーツ広場等の適切な管理と充実した運営を職員全員で行う	随時			
	ホームページの管理		自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報をTwitterにて掲載し広く周知する	随時			
	メールマガジンの発行	横浜市内を中心に各機関・施設・団体等の情報の収集・整理・発信を行い、市民や団体へ幅広く社会参加につながる情報の提供をし、社会参加のすそ野の見える化をすすめる	ホームページに掲載した情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を登録者に定期的に配信提供する。月1回発行	12			
	ブログ・ツイッターの配信		社会教育や学習に関する身近な情報をブログで発信し、社会教育や学習に関心をもってもらうきっかけとする	随時			
	掲示板や館内掲示の充実		コーナー前の歩道に設置されている掲示板を一部開放。又、館内の壁、配架ラックに市内機関・施設や団体のイベントや講座のポスターやチラシを配架・掲示する	随時			
	相談・コーディネート	専門の職員(社会教育士やコーディネーター)を配置し、市民の社会教育や生涯学習に関する相談、生涯学習関係職員の相談にきめ細やかに対応する	相談者の学習活動が活発になるようICTも活用しながら、助言や必要な情報を提供する。また、相談内容の記録を蓄積し内部で共有することにより相談業務を円滑に進める	随時			
	読書活動による社会参加 場づくりと交流	おはなし会ボランティア養成講座修了生や地域・学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちに実践の場を提供	幼児から大人を対象に「おはなし会」を実施。併せて実践者同士の交流を行う【共催事業】	8	10		
	親子の広場	乳幼児をもつ親同士がともに子育てや社会的課題について学びと共につながり、仲間づくりや社会参加の一步を支援	楽しい雰囲気の中で手遊びや歌遊びを行うことで、交流を深め、顔見知りを作る機会とする。【共催事業】	5	20		
	【新規】若者の社会参加 若者企画体験プロジェクト	若者(学生・企業人)が集い、自由な発想で活動できる場をつくり、プロジェクトを通して地域の異なる世代の人と関わる機会を提供し、社会参加を促す	プロジェクトメンバーで交流をしながら、テーマを設定し学び合い、まちづくりに関する講座やイベントの企画体験をする。活動団体や学校などにも声をかけ、青少年や若者がコーナーを利用し学びあう機会とする	3	10	10,000	2,000
事業目標2 つながりづくり 多様な主体との連携・協働の推進	学校・地域コーディネーターの ネットワークづくり	学校と地域をつなぐ学校・地域コーディネーターが活動しやすい環境づくりを支援する	交流・情報交換会を実施し、課題を共有し、ネットワークづくりや専門スキルの提供の他、伴走支援、地域施設や企業等へつなぐサポートを行う。また、区、市の担当課との連絡、調整、連携を強化していく	3	10	0	0
	図書館と市民活動・生涯学習支援 センターの連携支援	図書館と市民活動・生涯学習支援センターが連携できるようコーディネートすることにより、双方の強みを生かした事業の実施を支援する	磯子図書館といそご区民活動支援センターが連携した事業を市民向けに行うことで、市民の継続した学習や活動に向かう	随時			
	紙芝居等を用いた交流会	横浜市内各区にある昔話やそれを元に作成した紙芝居をツールにした交流会や相互学習を行う機会の提供	横浜の昔話を題材した紙芝居・影絵等を持ち寄り、実演発表しあうことで、活動者が区を超え横浜の物語に触れる機会をつくる	1	20	0	0
	磯子区NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な市民活動を活発にする	磯子区NPO連絡会と連携した取組の実施。いそご区民活動支援センターと共催する地域活動フォーラムに取り組み	6			

	磯子区館長連携会への参画	磯子区内の施設の連携と情報共有をすすめる	磯子区内の施設長が情報交換や連携を図り、協力していそびゴールデンウィークを開催	4				
事業目標3 人材育成 地域の学びと活動を活性化させる人材の育成	社会教育・生涯学習関係職員への対応・サポート	学習支援活動のための環境整備や主体的に活動する市民の育成など、学習を支援する職員としてのスキルアップをサポートする	各区支援センターや関係機関が抱える具体的な課題等について、必要に応じ、適切な解決が図られるよう支援を行う	随時				
	よこはま社会教育士ネットワーク	社会教育士の学びあうコミュニティを支えるために情報・交流と力量形成に役立つ場を提供をする	社会教育士としてのスキルを高め、学習支援者として学び続けられるようサポートする。今後、ICTなども活用していく【共催事業】	10	15			
	社会教育士を目指す人の育成	地域の学びを支える社会教育士を目指す人のための人材育成講座。受講者が講座終了後、各区で学びを支援する担い手として活動できるようになることを目指す	社会教育士について理解を深め、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力、コーディネート能力を身に着ける講座を実施	6	30	100,000	50,000	
	【新規】地域のボランティアが学校に行くために	地域の人がスキルを活かして学校で指導者として活動するために必要なことを知り、身につける	部活の地域移行により、地域の人が学校の放課後の部活動として生徒に指導する際に必要な知識やスキルについて学ぶ。学校で活動をする前に守秘義務、人権、共生社会等について確認する。また学校の地域コーディネーターと交流する機会を設ける	3	20	20,000	0	
	【新規】地域活動の担い手育成	市民活動団体の会議や市民企画事業の会議など、会議ファシリテーションについて学び、地域づくりの実践的な力をつける。	市内で生涯学習、社会教育、市民活動に関心を持つ市民が、ファシリテーションの目的や技術を学び、学んだことを地域で活かし、学び続けるきっかけとする	2	30	60,000	33,000	
	【新規】地域防災 防災から考える地域づくり	専門家と連携し市民の地震防災・救急救命などを学び、地域防災の啓発・理解を促進する人材を育てる	災害ボランティア団体や専門家と連携し、日頃から防災に必要なこと、実際に起きた際の行動などについて学び、地域づくりに活かしていく。対象を小中学生から大人とし、異世代で学びあう場とする	2	20	0	10,000	
地域課題への取組み	困難を抱えた子どもたちへの学習支援	学習障がいを抱えたり、様々な理由で学習の遅れが生じている子どもの支援をする	社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し学習の継続性を担保していく【後援事業】	40				
	発達が気になりな子どもをもつ保護者のピアカウンセリング	発達が気になりな子どもをもつ保護者の仲間づくりの場を提供する	発達が気になりな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの実施【共催事業】	10				
	多文化共生社会への意識づくり	いそご多文化共生ラウンジでボランティア活動をはじめの人にに向けた、多文化共生を理解するための学びや心構えを参加型のグループワークで身につける	ラウンジで外国人と接しボランティア活動をする際に身につけておきたい、多文化共生社会への理解や「やさしい日本語」について、ボランティアとしての心構えなどを学ぶ	1	20	10,000	5,000	
その他の取組み	利用者会議	登録団体による利用者会議を実施し、意見交換の内容を管理運営に生かすことで、市民による市民のための施設を目指す	利用者会議での内容や結果を施設内やHPで公表し情報公開の徹底を図る	1				
	利用団体アンケート	コーナーを利用する団体にアンケートを行う	利用団体にアンケートを行うことで日頃のニーズやコーナーへの要望などを把握し、施設の運営にいかしていく	随時				
職員研修	生涯学習・市民活動に関連する自主研修の設定および外部研修への参加	基礎研修の他、生涯学習や社会教育について、当団体のアドバイザー等による専門的な知識、スキルアップのための研修を行う。また、職員の外部研修等への積極的な派遣及び通信講座の受講を薦めるなど、各種の資格取得を推進する	職員研修を重ねることで、社会教育コーナーの設置目標に向かって専門性を高める	随時				

令和5年度 社会教育コーナー管理業務収支予算書案

科 目		内 訳	予 算 額
項 目	指定管理料	人件費・管理費等概算	13,220,000
	利用料金収入	施設利用料・付帯設備利用料（ピアノ・ロッカー・その他）	4,000,000
	事業収入	自主事業（事業計画案参照）	200,000
	その他の収入	コピー・印刷、自販機手数料等	262,000
収入合計（A）			17,682,000
項 目	人件費	職員給与、法定福利費（社会保険料等）、通勤費	12,253,100
	事務費	消耗品、印刷製本費、通信費、備品購入費、保険料、リース代など	1,391,380
	事業費	自主事業費より、講師謝金、会場費、その他の経費	100,000
	管理費	水道光熱費、清掃費、修繕費、機械警備費、設備保全費、共益費等	3,804,520
	事務経費 当該施設分	会計士・社労士顧問料按分金額	93,000
	ニーズ対応費	ピアノ調律費	40,000
支出合計（B）			17,682,000
収支差額（A）－（B）			0

令和5年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,220,000		13,220,000		13,220,000	横浜市より
利用料金収入	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	200,000		200,000		200,000	
雑入	262,000	0	262,000	0	262,000	
印刷代・ロッカー	140,000		140,000		140,000	
自動販売機手数料	20,000		20,000		20,000	
自動販売機電気料・目的外使用	100,000		100,000		100,000	
その他（シャワー）	2,000		2,000		2,000	
収入合計	17,682,000	0	17,682,000	0	17,682,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,253,100	0	12,253,100	0	12,253,100	
給与・賃金	11,386,100		11,386,100		11,386,100	日勤・夜勤スタッフ
社会保険料	550,000		550,000		550,000	
通勤手当	317,000		317,000		317,000	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	1,391,380	0	1,391,380	0	1,391,380	
旅費	2,000		2,000		2,000	
消耗品費	246,140		246,140		246,140	
会議踏い費	0		0		0	
印刷製本費	180,000		180,000		180,000	利用許可証含む、リソインク代
通信費	350,000		350,000		350,000	
使用料及び賃借料	40,920		40,920		40,920	
横浜市への支払分	40,920		40,920		40,920	自販機目的外使用
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	9,900		9,900		9,900	
施設賠償責任保険	29,920		29,920		29,920	
サイバーリスク保険	40,500		40,500		40,500	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	12,000		12,000		12,000	
リース料	360,000		360,000		360,000	各月：パソコン15,400円、コピー機9,130円、コピー代2,610円、印刷機2,860円
ホームページ運営費	110,000		110,000		110,000	HP更新費
地域協力費	0		0		0	
事業費	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0		0		0	
自主事業費	100,000		100,000		100,000	
管理費	3,804,520	0	3,804,520	0	3,804,520	
光熱水費	1,920,000	0	1,920,000	0	1,920,000	
電気料金	1,750,000		1,750,000		1,750,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	170,000		170,000		170,000	
清掃費	1,244,020		1,244,020		1,244,020	朝清掃850,000、定期清掃394,020
修繕費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	145,200		145,200		145,200	
設備保全費	170,500	0	170,500	0	170,500	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	81,400		81,400		81,400	消防設備点検（総合・機器 各年1回）、防火対象点検（年1回）
電気設備保守	39,600		39,600		39,600	自動ドア
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	49,500		49,500		49,500	建物設備点検（年3回）
共益費	24,800		24,800		24,800	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	93,000	0	93,000	0	93,000	
本部分			0		0	
当該施設分	93,000		93,000		93,000	会計士・社労士顧問料按分金額
二一ス対応費	40,000		40,000		40,000	ピアノ調律40,000
支出合計	17,682,000	0	17,682,000	0	17,682,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和5年度 資金計画表

(単位:千円)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
収 入	指定管理料	1,120	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	13,220
	利用料金収入	800	320	320	320	320	340	320	320	320	320	180	120	4,000
	自主事業収入			60	60	20	20	20	20					200
	その他収入	24	24	22	22	22	22	22	22	22	20	20	20	262
各月收入合計(A)		1,944	1,444	1,502	1,502	1,462	1,482	1,462	1,462	1,442	1,440	1,300	1,240	17,682
支 出	人件費	1,033	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	12,253
	事務費	120	120	120	120	120	120	120	111	110	110	110	110	1,391
	事業費			33	50		5	7	5					100
	管理費	315	315	320	320	320	320	320	315	315	315	315	315	3,805
	事務経費	7	7	7	7	7	7	7	7	15	8	7	7	93
	ニーズ対応費		20						20					40
各月支出合計(B)		1,475	1,482	1,500	1,517	1,467	1,472	1,494	1,458	1,460	1,453	1,452	1,452	17,682
収支差額(A-B)		469	(38)	2	(15)	(5)	10	(32)	4	(18)	(13)	(152)	(212)	